

平成28年10月27日

指導者 興梠 幸代

荒川 ひかり

1 主題名 外国の友達「バングラデシュから来たシャボン君」

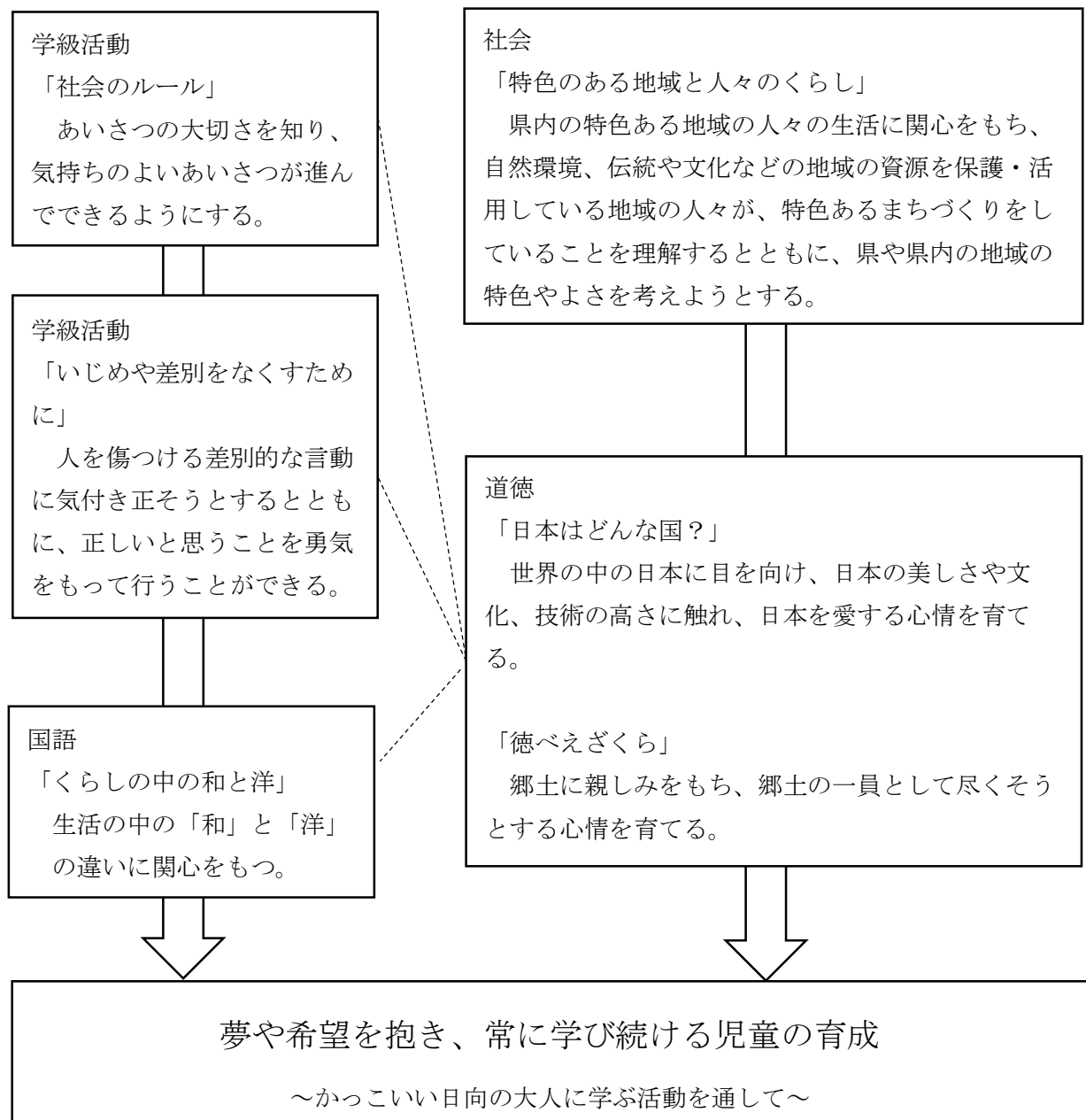
2 ねらい

○ 外国の文化に関心をもって、外国の人々に親しもうとする態度を養う。 (愛国心・国際理解)

3 講師

宇宿 徳恵さん (日向市役所 健康福祉部 いきいき健康課 健康づくり係)

4 教育活動間の関連 (⇒活動の流れ・……活動間の関連)



5 本時のねらい 外国の文化に関心をもって、外国の人々に親しもうとする態度を養う。

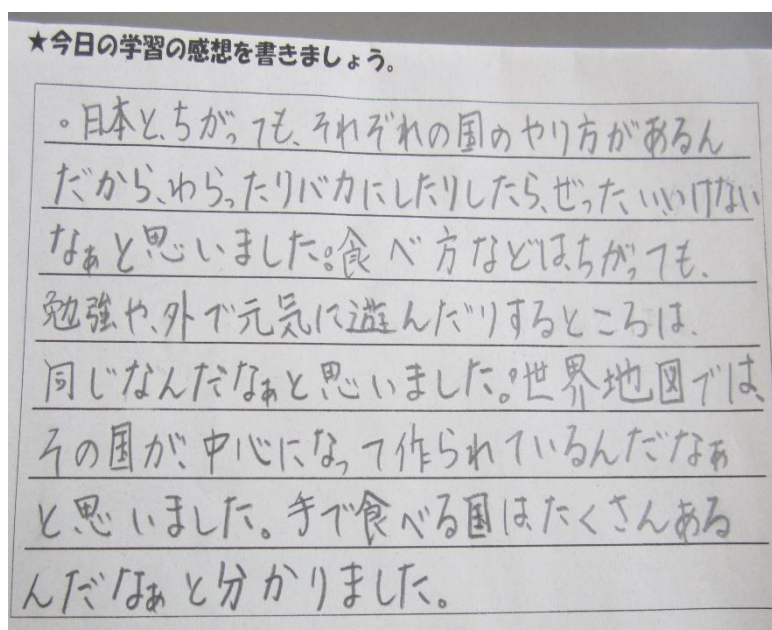
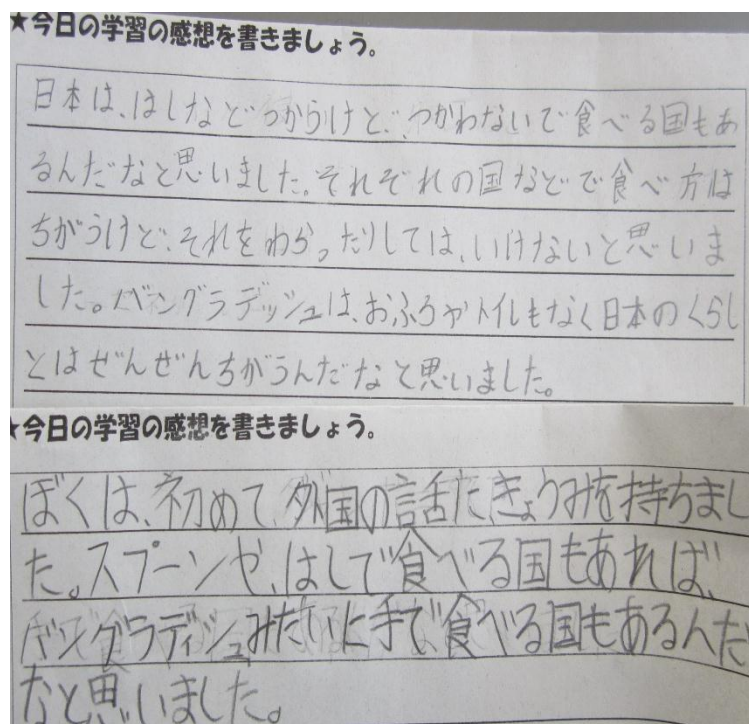
6 学習指導過程

段階 時間	学習内容及び学習活動	指導上の留意点		評価	資料 準備
		指導者	外部人材		
導 入 (5分)	1 講師を紹介する。 2 身の回りに外国の物があるか、意見を出し合う。	○ 外部人材の紹介をする。 ○ いろいろな国の製品を集めておく。	○ 自己紹介をする。		世界地図 外国製品
展 開 (20分)	3 「バングラデシュから来たシャボン君」を読んで話し合う。 ○ カレーを手で「食べてみるよ。」と言われたシャボン君を見て、愛里さんはどう思ったか。 ○ バングラデシュのビデオを見て、愛里さんは、シャボン君のことで、クラスのみんなに何を言いたいと思ったか。	○ 異文化間での違いから摩擦がおきたときの気持ちを考えさせる。 ○ 文化や習慣は違っても、その根本の心や機能は同じものが多いということに気付かせる。		☆ 自分たちとの違いや、同じ所を見つけ、関心をもつことができたか。	副読本
終 末 (20分)	4 ゲストティーチャーの話を聞く。 5 本時の学習のまとめをする。 ○ 学習の感想	○ 今日の学習の感想を発表させる。	○ アフリカの生活の様子について、特に日本と違う点を中心に話をしていただく。 ○ 今日の学習のまとめや児童の感想を聞いて感じたことを、話してもらう。		

7 板書計画

	外国の人の生活 おじさんのビデオ 勉強をしている 手伝いもしている 国によって違うことがある ばかりではいけない	カレー「手で食べてみろよ。」 かわいそう みんな分かってあげよう 日本と違うな	外国の物 バングラデシュから来たシャボン君
--	--	--	-------------------------------------

8 児童の感想



9 授業者の感想

- 4年生に伝わる話ができるか心配されていましたが、分かりやすく話ができるために写真を準備してくださり、当日は子どもたちも「わあー」「すごい！」と関心しながら話を聞かせていただいた。
- 子どもたちが静かに、熱心に聞いていた姿を見られて「よかったです。」と喜んでくださった。

